

農業会議だより

第18号(平成31年3月)発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 第2回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催
2. 農業委員会女性協議会視察研修会を開催
3. 市町農業委員会職員研修会を開催
4. 認定農業者等経営発展研修会を開催
5. 農業者年金の加入推進
6. 全国農業新聞の普及推進
7. 常設審議委員会の結果(1月、2月)
8. 行事予定

1. 第2回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催

改正農業委員会法が施行され3年目を迎え昨年までに全ての市町が新体制に移行し、農業委員と推進委員あわせて555人となっています。農業委員会改革の主眼である「農地利用の最適化」に向けて、農業委員・推進委員が関係機関・団体と連携のもと担い手への農地利用集積のマッチング等の取り組みを進めていく必要があります。



このため、1月23日に鹿島市において、「第2回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催しました。

研修会では、まず、県農林水産部農産課長の永渕和浩氏から「佐賀県における農業の担い手育成の現状」をテーマに講演をいただきました。永渕氏は、「本県は地域において日常生活が営まれる場と農業生産活動が行われる現場は密接に関係しており、高齢化等に伴い農業従事者が減少すれば地域の衰退に繋がる。県内外を問わず、地域を支える人材の確保は喫緊の課題」と語られました。また、これからの農業の担い手の確保・育成等について、支援策の全体をパッケージにした施策の展開が必要であり、農業への意識づけから就農・定着、経営発展までの支援として、インターンシップ事業やトレーニングファーム整備推進事業、施設・機械等の導入支援(さが園芸農業者育成対策事業等)、スキルアップ研修事業等の取り組みを紹介いただきました。

このあと、トレーニングファームの具体的な実践事例として、嬉野市農業委員会委員の西田昭義氏から、きゅうりのトレーニングファーム(武雄市朝日町)による研修内容や効果など新規就農支援の取り組みを紹介。また、江北町農業委員会会長の大串俊實氏から、分散した農地の解消のため、農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化の活動事例を報告いただきました。

農業・農村の振興・発展はもとより、農地利用の最適化に向けて、農業委員と推進委員の皆様方の今後、益々のご活躍に期待が寄せられています。

2. 農業委員会女性協議会視察研修会を開催

佐賀県農業委員会女性協議会（会長：岩橋久美・会員37名）は、今後の組織活動の活性化を図るため、1月18日に伊万里市において、視察研修会を行いました。

研修会では、㈱フェルマ木須と㈱百姓屋の生産現場を訪ね、農畜産物の生産・販売、ブランド化や女性農業者の活躍の実践事例等を学びました。

視察研修の主な内容は下記のとおりです。

㈱フェルマ木須(伊万里市木須町・木須栄作 氏)

- ・ 特別栽培米、もち麦、施設きゅうりを栽培
- ・ J G A P (生産工程管理)の認証取得
- ・ きゅうりアイス、手づくり餃子の販売
- ・ 農家民宿等多角経営を展開

㈱百姓屋(伊万里市波多津町・市丸初美 氏)

- ・ 花苗栽培、ガーデニング、寄せ植え体験教室
- ・ ブロイラー、スモークチキン「山ん鶏」の販売
- ・ 農産物直売所の運営など女性の活躍の場として経営展開

3. 農業委員会職員研修会を開催

佐賀県農業委員会職員協議会（会長：福田康則）は、農業会議との共催で、農業委員会職員研修会を開催しました。

研修会では、まず、全国農業会議所 農地組織対策部の永岡由衣氏から農地中間管理事業の見直しや農業基盤強化促進法・農地法の一部改正など農業委員会を巡る情勢に加え、農地利用の最適化の推進について、説明をいただきました。

次に、伊万里市における農業委員会活動～農地利用の最適化の取り組み～について、伊万里市農業委員会の松尾慎也氏から梨園や茶園の農地集積・集約化の取り組みについての事例報告いただきました。

また、「遊休農地の解消対策」をテーマにグループ討議を行い、6班に分かれ、各市町の利用状況調査・意向調査の実施状況や遊休農地の再生利用対策とともに、共通の課題として担い手の確保・育成や優良農地の確保・有効利用の取り組みについて情報共有し、今後、守るべき農地の明確化と非農地判断、適正な非農地通知の発出等について、活発な意見交換を行いました。

最後に県農産課の担当者から「農地利用の最適化の推進は、農業委員会と市町、J A、土地改良組合など関係機関団体との協力関係をどのように整理(チームワークの構築)するかがポイントとなる。」また、「遊休農地マップ(所有者の情報、農地の色分け)の作成や遊休農地の適正なB判定と非農地通知の発出について、今回の研修で得た情報を持ち帰り、各市町で再度ご検討いただきたい」とグループ討議のまとめをしていただきました。

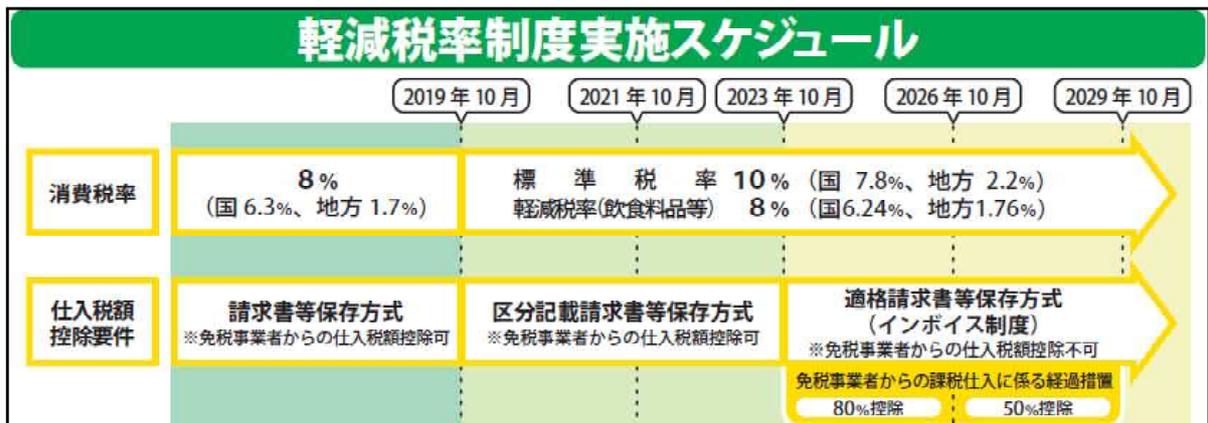


4. 平成30年度認定農業者等経営発展研修会を開催

佐賀県やJA中央会、JAさがと当会議等が構成する「県担い手育成総合支援協議会（会長：坂井邦夫・農業会議会長）」が運営する「さが農業経営相談所」の主催で、2月25日に武雄市、26日に佐賀市にて研修会を開催し、県内の認定農業者や関係機関・団体ら約175人が参加されました。



前段では、福岡国税局の軽減税率制度担当者が「農業者の消費税の軽減税率制度導入に向けた対応について」と題して講演。10月1日から実施される消費増税に向けて、軽減税率の基本をはじめ、「出荷奨励金・完納奨励金」「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」「軽減税率対策補助金」について解説されました。



(出典:全国農業会議所)

後段では、社会保険労務士法人きたむら事務所の北村眞士氏に「農業における雇用と労務管理についての心構え」と題し、人を雇用する上での留意点などを講演していただきました。農業は労働基準法の一部適用除外があるものの、できるだけ他産業と同じぐらいの労働条件でなければ農業の成り手確保は難しく、言った言わないのトラブル防止のためにも、必ず労働契約書を作成するように話されました。さらに、4月1日から施行される年次有給休暇の取得義務化について、労働者の有給休暇管理のポイントなどを解説。農業の特性に配慮しつつ、より合理的な労務管理を行っていく必要があると語られました。

両段とも、今年から施行される事柄ということもあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

5. 農業者年金の加入推進について

老後の家計費 月額約23～24万円に対し、
国民年金 月額約13万円 ※夫婦2人の試算

月々10万円程度不足

不足分を補うには、メリットの多い農業者年金が最適です！

戸別訪問や、会合等でチラシの配布・制度の説明をするなど

**制度を知らなかったという農業者がいないように
制度の普及・推進をお願いします。**

今年度加入申込分の基金受付期限は3月15日(金)です。

○ 平成30年度新規加入目標・実績 ○

(単位：人)

| 市町名 | 30年度 | | 達成率 (%) | 残り 確保数 |
|-------|------|-------|------------|-----------|
| | 目標 | 4月～1月 | | |
| 佐賀市 | 9 | 8 | 89 | 1 |
| 神埼市 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 吉野ヶ里町 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 鳥栖市 | 1 | 2 | 200 | 達成☆ |
| 基山町 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 上峰町 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| みやき町 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 多久市 | 1 | 2 | 200 | 達成☆ |
| 小城市 | 2 | 1 | 50 | 1 |
| 唐津市 | 15 | 17 | 113 | 達成☆ |
| 玄海町 | 2 | 7 | 350 | 達成☆ |
| 伊万里市 | 5 | 3 | 60 | 2 |
| 有田町 | 1 | 2 | 200 | 達成☆ |
| 武雄市 | 2 | 2 | 100 | 達成☆ |
| 大町町 | 1 | 2 | 200 | 達成☆ |
| 江北町 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 白石町 | 8 | 7 | 88 | 1 |
| 鹿島市 | 4 | 2 | 50 | 2 |
| 嬉野市 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 太良町 | 3 | 1 | 33 | 2 |
| 合計 | 64 | 56 | 88 | 8 |

農業者年金関係図書のご案内



農業者年金 加入推進事例集vol.11

加入推進活動のヒントに!!
加入推進のノウハウ、現場の知恵や工夫等が掲載。

コード：30-23
定価：720円
規格：A5判・48頁



2018年度版 農業者 年金一年金の仕組みとメリット

年金の魅力やメリット、
制度内容が詳しく掲載。
加入推進の資料として。

コード：30-09
定価：90円
規格：A4版・8頁

6. 全国農業新聞の普及推進について

「全国農業新聞」普及推進のお願い

今年度目標部数 1,800 部

目標まであと 377 部

3月現在部数 1,423 部

農業委員・推進委員 555名中 526名 95%が購読中!!

★20市町中16市町が皆購読中★

《なぜ、全国農業新聞を普及する?》

「情報提供活動」は農業委員・推進委員の役割(農業委員会法)

では、「情報提供活動」とは?

農業者等へ農業経営に役立つ情報を提供、
関連各制度を周知すること

「情報」を伝えて歩くのは、難しいのでは?

全国農業新聞を購読してもらおうと、「情報」が届く!

☆「農業委員・推進委員1人・1年・1部純増」運動を確実に実施

☆戸別訪問や畦ばた会議、日常の相談活動等で普及推進

ご協力をお願いします!!!



プロジェクト活動で活発に 佐賀・白石町
クラブ「青年実業会」
【佐賀】県中南部に位置する白石町は干拓事業で造成された土地で、野菜などの園芸作物や米・麦・大豆を主体とした土地利用型農業を中心に展開している。町の農村青少年クラブの白石青年実業会(永松惇平会長)は、県内最多の39人が在籍。小学生が対象の食農教育や地域の行事で直売会などを開いてきた。

本年度は、毎年開催されている青年農業者会議(全国農業青年クラブ連絡協議会主催)でのプロジェクト発表を目指す。このプロジェクト活動をきっかけにクラブがより活性化するように、栽培者が多いレンコンの課題に取り組み始めた。これまでに勉強会や意見交換会、共同作業、視察研修を実施。当初は勉強会への参加者がレンコン栽培者4~5人のみだった。そこで「プロジェクト活動はみんなで取り組むもの」「これから経営者になるためには勉強会が必要」という活動の意義を共有したところ、4回目の勉強会では20人が参加し写真、共同作業も実施できた。活動を通して、少しずつクラブは活性化しており、今後も有意義なクラブを目指していく。
(情報提供 杵島農業改良普及センター)

◎来年度の佐賀県の記事は23本

月に2回ペースで佐賀の記事が読めます

(2月8日付 全国農業新聞)

7. 常設審議委員会結果 (H31年1～2月)

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第34回、第35回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

| | | | |
|------|-------|-----|---|
| 第34回 | 1月15日 | 第4条 | 1 |
| | | 第5条 | 6 |
| 第35回 | 2月15日 | 第4条 | 1 |
| | | 第5条 | 9 |

○田畑別件数及び面積

| 回数 | 開催日 | 区分 | 田 | | 畑 | | 計 | |
|------|-------|-----|----|--------|----|--------|----|--------|
| | | | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 |
| 第34回 | 1月15日 | 第4条 | 1 | 1,613 | 1 | 1,980 | 1 | 3,593 |
| | | 第5条 | 5 | 17,324 | 4 | 14,904 | 6 | 32,228 |
| 第35回 | 2月15日 | 第4条 | - | - | 1 | 4,018 | 1 | 4,018 |
| | | 第5条 | 7 | 28,714 | 4 | 13,151 | 9 | 41,865 |

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

8. 今後の行事予定

| 月 | 日 | 時間 | 場 所 | 内 容 |
|---|-------|----------------|---------------|---------------------------------|
| 3 | 15 | 13:30 | グランデはがくれ | 第36回常設審議委員会 |
| | 20 | 13:30 | グランデはがくれ | 農業会議理事会 |
| 4 | 15 | 13:30 | グランデはがくれ | 第37回常設審議委員会 |
| | 16 | 10:00 13:00 | グランデはがくれ " | 市町農業委員会事務局長会議 市町農業委員会新任職員研修会 |
| 5 | 15 | 13:30 | グランデはがくれ | 第38回常設審議委員会 |
| | 20 | 10:00 | 農業会議事務局 | 農業会議監査・役員会 |
| | 24 | 13:30 | 千代田館 | 農業会議理事会 |
| | 27～28 | 13:00 | 東京都 | 全国農業委員会会長大会 |
| 6 | 17 | 10:30 | グランデはがくれ | 第39回常設審議委員会 |
| | | 13:30 | " | 農業会議通常総会・臨時理事会 |
| | | 15:00 | " | 市町農業委員会会長会議 |